家庭教育ほっと情報局

那須地区
家庭教育オピニオンリーダー研修会

令和６年８月８日（木）　栃木県庁那須庁舎

本研修は、家庭教育オピニオンリーダーの資質向上を目指すための学びの場を提供しています。また、各支部間の情報交換をすることにより、家庭教育オピニオンリーダーの活動の活性化と充実を目指しています。

講話「不登校の理解と保護者との連携」

講師　総合教育センター教育相談部　副主幹　塚越　道生　氏

今年度は、社会問題の一つである「不登校」にフォーカスし、塚越氏を招いて、不登校の理解と保護者の連携について御講話いただきました。講師の「不登校は悪いことですか？」の投げかけは児童生徒への支援を立ち止まって考える言葉となりました。参加者の中には、フリースクールで不登校の子どもたちと日々関わっている方もいます。不登校の現状を知り、各自が肌感覚で捉えている課題を深く考えることができました。参加者から「塚越氏の『保護者の支援が子どもの支援につながる』との言葉に、不登校で悩む保護者に寄り添う活動ができたらと思う。」という感想が寄せられ、家庭教育・子育て支援の視点を広げる機会となりました。

総合教育センター
マスコットキャラクター
「アン」と「シン」

オピニオンリーダー交流会・情報交換会

進行　総合教育センター生涯学習部　副主幹　小柳　真一　氏

今年度の家庭教育オピニオンリーダー研修受講者４名とともに大きな輪をつくり、那須ブロック長の挨拶と顔合わせから始まりました。その後、グループに分かれて那須地区の各支部の活動の情報交換を行いました。研修受講者も受講動機や今後の活動について話されていました。和やかな雰囲気の中、互いの活動の情報交換をすることで、新たな気付きとつながりができました。

参加者からは、「不登校の現状を知ることができてよかった。」「交流会で、様々な活動のお話を聞けてよかった。」「親として不登校気味の子どもに、どのように関わっていけばよいか参考になった。」などの感想の声が寄せられました。